

**PLAYING INSTRUMENT**

Patent Number: JP8047550  
Publication date: 1996-02-20  
Inventor(s): IKEGAMI MASASATO  
Applicant(s): MASASATO IKEGAMI  
Requested Patent: ☐ JP8047550  
Application Number: JP19940186164 19940808  
Priority Number(s):  
IPC Classification: A63B5/11; A63B67/00  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PURPOSE:** To improve safety and handleability and to reduce the frequency of interruption of play for a playing instrument utilizing trampoline.

**CONSTITUTION:** This instrument is the one in which the trampoline is partitioned to two areas A, B by a net 10 erected in its center part and by which a ball is transferred between the areas A, B via a cylindrical basket 11 provided in the net 10 so as to communicate two areas A, B mutually, and a canvas 2 which comprises the floor of the trampoline being supported by a spring 3 from the periphery is enclosed with a net 21 erected on the connecting part of the canvas 2 and the spring. The baskets 22 are also provided by super-imposing vertically, and a ceiling is provided above the areas A, B by stretching a new net 22 on a plane enclosed with the upper terminal edges of the nets 7, 10 and 21.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

## **JP8047550**

Publication Title:

**PLAYING INSTRUMENT**

Abstract:

**PURPOSE:**To improve safety and handleability and to reduce the frequency of interruption of play for a playing instrument utilizing-trampolin.

**CONSTITUTION:**This instrument is the one in which the trampolin is partitioned to two areas A, B by a net 10 erected in its center part and by which a ball is transferred between the areas A, B via a cylindrical basket 11 provided in the net 10 so as to communicate two areas A, B mutually, and a canvas 2 which comprises the floor of the trampolin being supported by a spring 3 from the periphery is enclosed with a net 21 erected on the connecting part of the canvas 2 and the spring. The baskets 22 are also provided by super-imposing vertically, and a ceiling is provided above the areas A, B by stretching a new net 22 on a plane enclosed with the upper terminal edges of the nets 7, 10 and 21.

-----  
Data supplied from the esp@cenet database - <http://ep.espacenet.com>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-47550

(43) 公開日 平成8年(1996)2月20日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 6 3 B 5/11

67/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-186164

(22) 出願日 平成6年(1994)8月8日

(71) 出願人 000209739

池上 正郷

東京都府中市西原町4丁目28番地の24

(72) 発明者 池上 正郷

東京都府中市西原町4丁目28番地の24

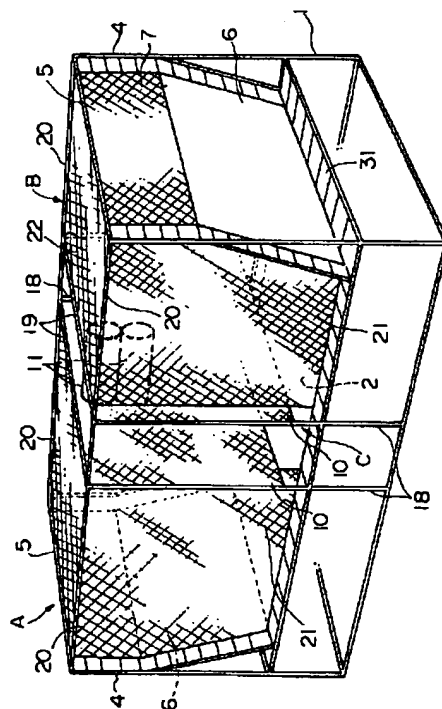
(74) 代理人 弁理士 志賀 正武 (外2名)

(54) 【発明の名称】 遊 具

(57) 【要約】

【目的】 トランポリンを利用した遊具において、その安全性および取扱性を向上させ、かつ遊技の中断頻度を低下させる。

【構成】 トランポリンを、その中央部に立設されたネット10で2つのエリアA、Bに仕切り、ネット10にエリアA、B間を連通するよう設けられた円筒状のバスケット11を介して、エリアA、B間でボールのやりとりを行う遊具であって、周囲からスプリング3で支持されてトランポリンの床面を構成するキャンパス2は、このキャンパス2とスプリング3との連結部上に立設されたネット21で取り囲まれている。また、バスケット11が上下に重ねて設けられる他、エリアA、Bには、ネット7、10、21の上端縁で囲まれた平面に新たなネット22を張ることにより、天井が設けられている。



BEST AVAILABLE COPY

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 トランポリンを、その中央部に立設されたネットで2つのエリアに仕切り、このネットに前記エリア間を連通するよう設けられた円筒状のバスケットを介して、前記エリア間でボールのやりとりを行う遊具であって、

前記トランポリンの床面を構成し、かつ周囲からスプリングで支持されたキャンパスが、このキャンパスと前記スプリングとの連結部上に立設されたネットに取り囲まれていることを特徴とする遊具。

【請求項2】 前記各エリアの床面を構成するキャンパスが、それぞれ別のスプリングで互いに独立して支持されていることを特徴とする請求項1記載の遊具。

【請求項3】 前記トランポリンの中央部に立設されたネットが、前記トランポリンの外枠上に前記外枠と一体的に立設されたボールにより支持されていることを特徴とする請求項1または2記載の遊具。

【請求項4】 前記バスケットが、上下に複数個重ねて設けられていることを特徴とする請求項1、2または3記載の遊具。

【請求項5】 前記キャンパスの周囲に立設されたネットの上端縁で囲まれた平面に、前記エリアの天井たるネットが張られていることを特徴とする請求項1、2、3または4記載の遊具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、トランポリンをネットで2つのエリアに仕切り、このネットに設けられた円筒状のバスケットを介して、これらエリア間でボールのやりとりを行う遊具に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 トランポリンを応用した遊具の一種に、例えば図3に示すようなものがある。図3中符号1はトランポリンの外枠で、この外枠1の上端で囲まれた平面には、キャンパス2が、その周囲をスプリング3を介して外枠1に連結させることにより、水平に支持されている。そして、このキャンパス2により、トランポリンの床面が形成されている。

【0003】 また、外枠1の四隅には縦枠4がそれぞれ立設され、かつこれら縦枠4の上端には、外枠1の長手方向と直交する横枠5がそれぞれ横架されている。更に、キャンパス2のうち、外枠1の長手方向両端側の端縁部はそれぞれ縦枠4に沿って上方に延設されてバックストップ6と呼称され、かつバックストップ6の上端面と横枠5との間は、ネット7により連結されている。

【0004】 一方、外枠1の長手方向中央部には、キャンパス2を挟んで立つ各一对のボール8が、外枠1の長手方向に所定間隔を介してそれぞれ仮設され、かつこれら各一对のボール8の上端には、外枠1の長手方向と直交するステー9がそれぞれ横架されている。更に、これ

2

ら各一对のボール8およびステー9には、外枠1の長手方向と直交するネット10が、その両端および上端をそれぞれボール8およびステー9に支持させた状態で前記所定間隔を介してそれぞれ立設され、その結果、トランポリンは、これら一对のネット10で2つのエリアA、Bに等しく仕切られている。

【0005】 また、これら一对のネット10は、その上端中央部に外枠1の長手方向に沿って設けられた円筒状のバスケット11により連結され、かつエリアA、B間は、このバスケット11を介して連通されている。

【0006】 遊技者は、エリアA、B内にそれぞれ立ち、キャンパス2およびバックストップ6の弾性を利用しつつバスケット11を介して相手エリアにボールを投げ込む。すなわち、バスケット11を介してエリアA、B間でボールのやりとりを行うことにより、遊技を行う。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来の遊具においては、例えば以下の(イ)ないし(ニ)に示すような点が、使用上の問題点として挙げられている。

(イ) 遊技者がエリアA、B内にてジャンプをした際、誤ってスプリング3の間に足を突っ込んだり、あるいはトランポリンから外に飛び出したりする恐れがあった。また、同様にボールも外に飛び出すため、遊技者がその都度拾いに行くか、あるいは予め補助者を待機させておく必要があった。

【0008】 (ロ) エリアA、Bの床面が同一のキャンパス2であるため、一方のエリアにおける遊技者の動きが他方のエリアに直接伝わり、その影響で、他方のエリアにおいて、遊技者がバランスを崩したり、遊技者の動きが制限される場合があった。

【0009】 (ハ) 既存のトランポリンにボール8およびステー9を新たに仮設したため、ネット10の揺れに応じてバスケット11がボール8およびステー9ごと揺動し、バスケット11の安定性が低下する場合があった。また、遊技者の身長に応じて、その都度バスケット11の高さを調節する必要があった。

【0010】 (ニ) 跳躍が容易であるというトランポリンの特徴を利用しているため、遊技者が、周囲にバックストップ6やネット10があるにも係わらず、過度なジャンプや宙返り等を試みる恐れがあった。

## 【0011】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、トランポリンを、その中央部に立設されたネットで2つのエリアに仕切り、このネットに前記エリア間を連通するよう設けられた円筒状のバスケットを介して、前記エリア間でボールのやりとりを行う遊具であって、特に、前記トランポリンの床面を構成し、かつ周囲からスプリングで支持されたキャンパス

が、このキャンパスと前記スプリングとの連結部上に立設されたネットを取り囲まれていることを主たる特徴とするものである。

【0012】ここで、各エリアの床面を構成するキャンパスが、それぞれ別のスプリングで互いに独立して支持されていてよい。また、トランポリンの中央部に立設されたネットを、前記トランポリンの外枠上に前記外枠と一体的に立設されたポールにより支持したり、前記バスケットを、上下に複数個重ねて設けることも可能である。更に、前記キャンパスの周囲に立設されたネットの上端縁で囲まれた平面に新たなネットを張ることにより、前記エリアに天井を設けてもよい。

【0013】

【作用】本発明の遊具では、エリアの床面を構成するキャンパスが、このキャンパスと前記スプリングとの連結部上に立設されたネットを取り囲まれている。そのため、遊技者やボールのエリア外への飛び出しが、このネットにより阻止される。

【0014】また、各エリアの床面を構成するキャンパスを、それぞれ別のスプリングで互いに独立して支持した場合には、一方のエリアにおける遊技者の動きが他方のエリアに伝達されずに済む。

【0015】更に、トランポリンの中央部に立設されたネットを支持するポールをトランポリンの外枠上に一体的に立設することにより、ポールおよびバスケットの揺動が防止され、かつバスケットを上下に複数個重ねて設けることにより、遊技者の身長に応じたバスケットの高さ調節が不要となる。一方、エリアに天井を設けることにより、エリアの高さが制限され、遊技者の過度なジャンプや宙返り等が防止できる。

【0016】

【実施例】以下、図面にに基づき、本発明の実施例について更に詳しく説明する。なお、以下の実施例中、上記図3に示した遊具と同一の構成を有する部分については、図3と同一の符号を付して、その説明を省略する。

【0017】図1は、本発明の第一実施例を示すもので、外枠1の長手方向中央部には、キャンパス2を挟んで外枠1の長手方向と直交する向きに対向する各一對のポール18が、外枠1の長手方向に所定間隔を介してそれぞれ外枠1と一体的に立設されている。更に、これら一對のポール18の上端には、外枠1の長手方向と直交するステー19がそれぞれ横架されている。

【0018】また、縦枠4の上端とポール18の上端との間には、外枠1の長手方向に沿って横枠20がそれぞれ横架され、かつ横枠20の内側には、外枠1の長手方向に沿って立設されたネット21の上端が、横枠20と平行に支持されている。

【0019】更に、ネット21の下端はキャンパス2およびバックストップ6とスプリング3との連結部に上方から支持され、かつネット7とネット21とは、その重

なり合う端面同士で接している。すなわち、この遊具では、キャンパス2およびバックストップ6が、その周囲に立設されたネット7、21で取り囲まれている。

【0020】一方、これらネット7、21と、トランポリンの中央部に設けられたネット10との上端縁で囲まれた平面には、新たなネット22が張られ、その結果、エリアA、Bには、これらネット22によりそれぞれ天井が設けられている。また、ネット10には、バスケット11が、上下に2個重ねた状態で設けられている。そして、遊技者は、ネット10間に設けられた隙間Cからネット10の下をくぐってエリアA、B内に入り、バスケット11を介してエリアA、B間でボールのやりとりを行うことにより、遊技を行う。

【0021】上記構成を有する遊具では、キャンパス2およびバックストップ6が、キャンパス2およびバックストップ6とスプリング3との連結部上に立設されたネット7、21で取り囲まれている。そのため、遊技者が誤ってスプリング3の間に足を突っ込むこともなく、かつ遊技者やボールのエリアA、B外への飛び出しが、これらネット7、21により阻止される。従って、遊具の安全性が向上するとともに、遊技者がエリアA、B外へと飛び出したボールを拾いに行ったり、あるいは補助者を待機させておく必要もない。

【0022】また、ポール18が外枠1と一体的に形成されているため、ネット10の揺れに依じたポール18の揺動が防止される。その結果、バスケット11の揺動が最小限に留められ、既存のトランポリンにボールを仮設した場合に比較してバスケット11の安定性が向上する。更に、2個のバスケット11を上下に重ねて設けたため、遊技者は、自らの身長に応じて上下いずれかのバスケット11を適宜使用することができる。従って、遊技者の身長に応じたバスケットの高さ調節が不要となる。

【0023】しかも、エリアA、Bにそれぞれネット22からなる天井を設けることにより、エリアA、Bの高さが制限される。その結果、遊技者の過度なジャンプや宙返り等が防止され、遊具の安全性が向上する。

【0024】図2は、本発明の第二実施例を示すものである。この実施例では、上記第一実施例の構成に加え、外枠1上端の、キャンパス2を等分する位置に、外枠1の長手方向と直交するステー30が横架されている。そして、キャンパス2は、このステー30により各エリア毎に分断され、かつそれぞれのキャンパス2は、スプリング3と、ステー30とキャンパス2とを連結させるスプリング31とにより、互いに独立して支持されている。なお、図2では、ステー30近傍の構造を明示するため、ネット7、10、21、22は省略してある。

【0025】本実施例の場合、各エリアの床面を構成するキャンパス2が、それぞれ別のスプリング31で互いに独立して支持されているため、一方のエリアにおける

遊技者の動きが他方のエリアに伝達されることはない。  
その結果、上記第一実施例の効果に加え、一方のエリア  
における遊技者の動きが、他方のエリアにおける遊技者  
におよぼす影響が排除されるという効果が得られる。

【0026】

【発明の効果】以上説明した通り、本発明によれば、安  
全性および取扱性に優れ、しかも遊技の中断頻度が低い  
遊具が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一実施例を示す遊具の斜視図であ  
る。

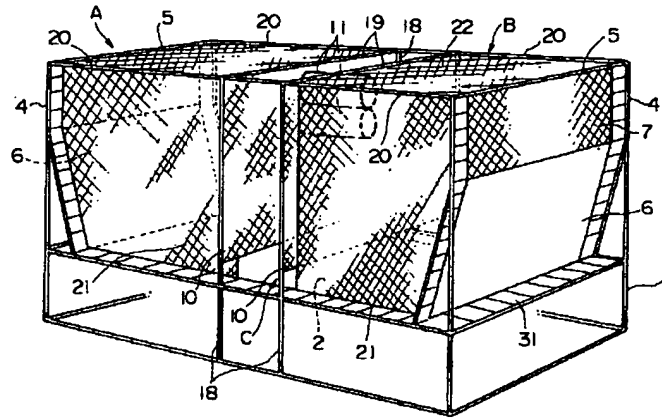
【図2】本発明の第二実施例を示す遊具の一部を省略し  
た斜視図である。

【図3】従来の遊具の例を示す斜視図である。

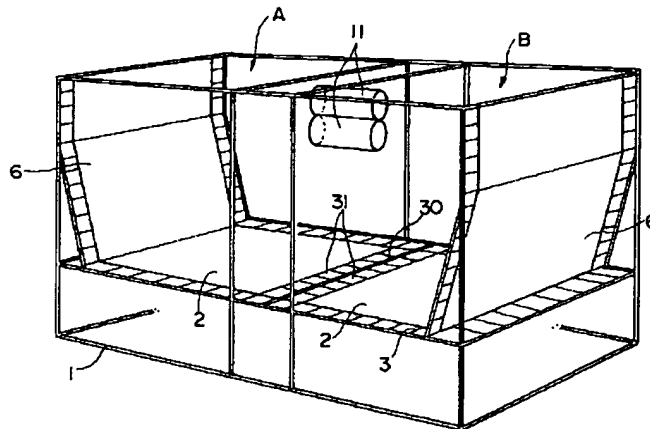
【符号の説明】

- 1 外枠
- 2 キャンバス
- 3, 31 スプリング
- 4 縦枠
- 5, 20 横枠
- 6 バックストップ
- 7, 10, 21, 22 ネット
- 8, 18 ボール
- 9, 19, 30 ステア
- 11 バスケット
- A, B エリア
- C 隙間

【図1】



【図2】



—347—